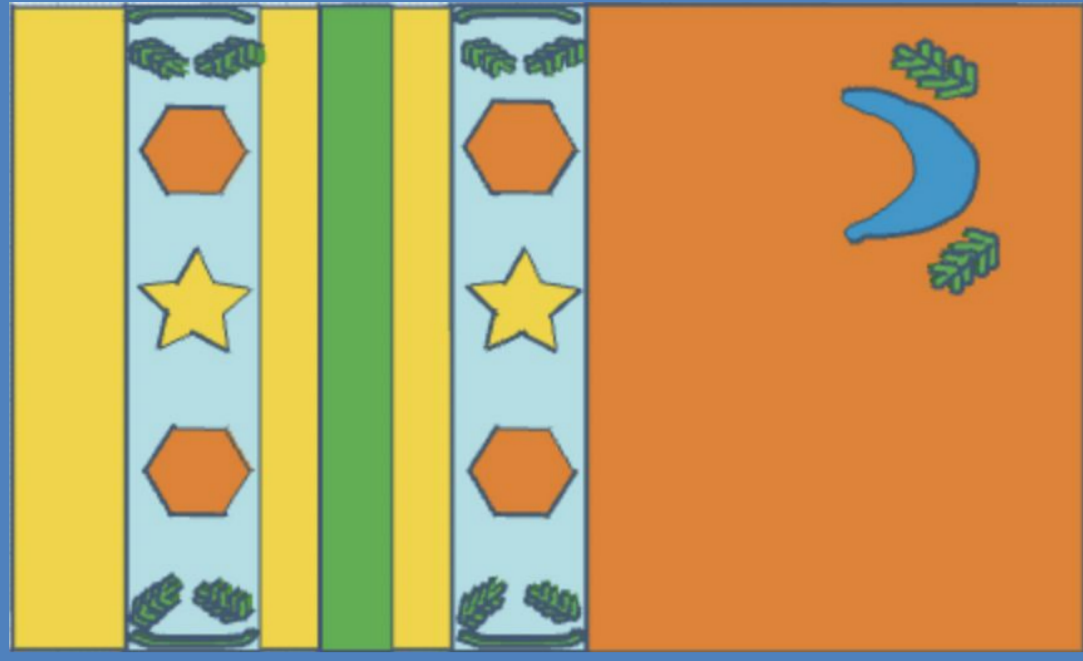


関西学院千里国際高等部

SDGs For Children

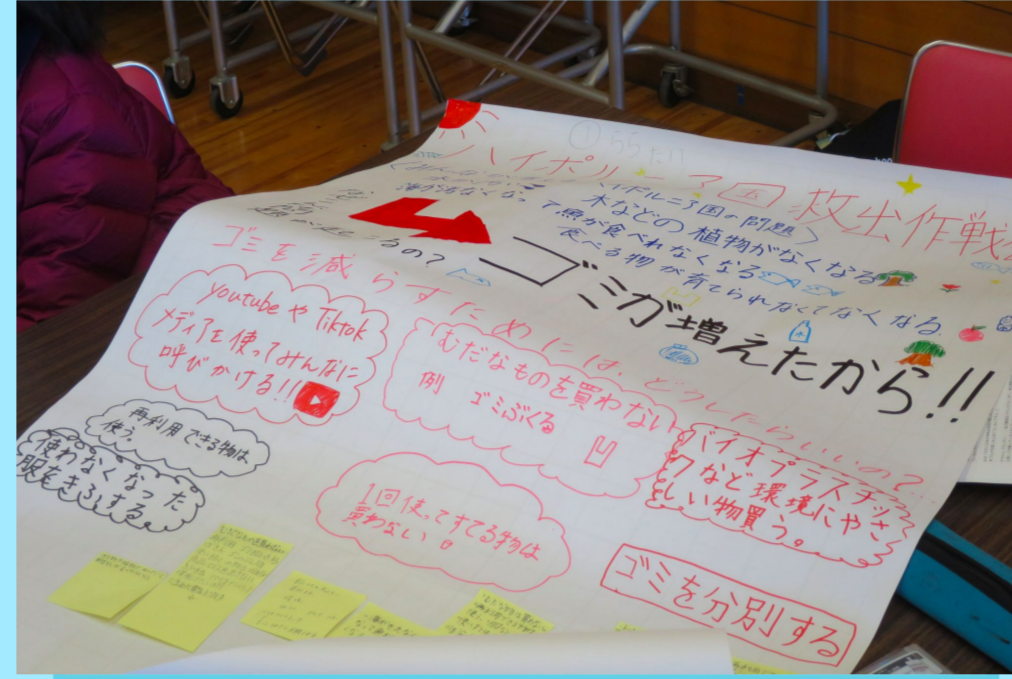


高校生ボランティア・アワード2021

「SDGs For Children」

活動概要

私たちはコロナ渦で
 ”今自分ができること”を探究し、
 培ってきた知識から高校生だからできるワークショップ
 を通して
 地球共通の課題を身近に感じられるようにと
 このグループを作りました。
 そして
 『小学生のSDGsの普及率をあげ、
 より地球に優しい環境を作る』という
 達成を目指しています。
 新田小学校への訪問では、
 ”小学生が自分事として環境問題を考えることが
 できるワークショップ” を目標に、
 私たちで”ハイポルニア国”という
 『世界で最も環境被害を受けている国』
 を創作し、ケーススタディ型の授業を
 一から作り上げました。
 小学生からの温かい声をきく聞くことができ、
 本当にこの活動を始めて良かったと、
 心の底から思っています。
 ぜひ今後もこの活動を継続させ、
 SDGsが当たり前になるような
 環境づくりの力添えができればと思います。



「高校生だからできるワークショップを」

活動の目的・志

私たちはSDGsの普及率に焦点を当てました。
 高校生活の中でSDGsを学んでいくうちに自らが地球
 市民の1人であると再確認し
 学びを行動につなげていきたいと感じました。そこ
 で、SDGsを学ぶ機会を増やすことで、
 私たちのようにアクションを起こそうとする人々が増
 えるのではないかと考えました。
 そこで
 現在の日本のSDGs普及率について調べました。
 すると、小学生SDGsの認知度の低さ、そして、学校
 の授業が中学生以上の学生のSDGs認知度に多大
 な影響を与えていることが
 見えてきました。
 そこで私たちは
 『SDGsの普及率をあげ、
 より地球に優しい環境を作っていく』
 が私たちの課題であると考え、
 行動に移していこうと考えました。

「ハイポルニア国防衛隊として」

私たちは、高校生だからこそできるワークショップを実践していく
 実際にはない国、High Pollutionから名前をとったハイポルニア国を設定。

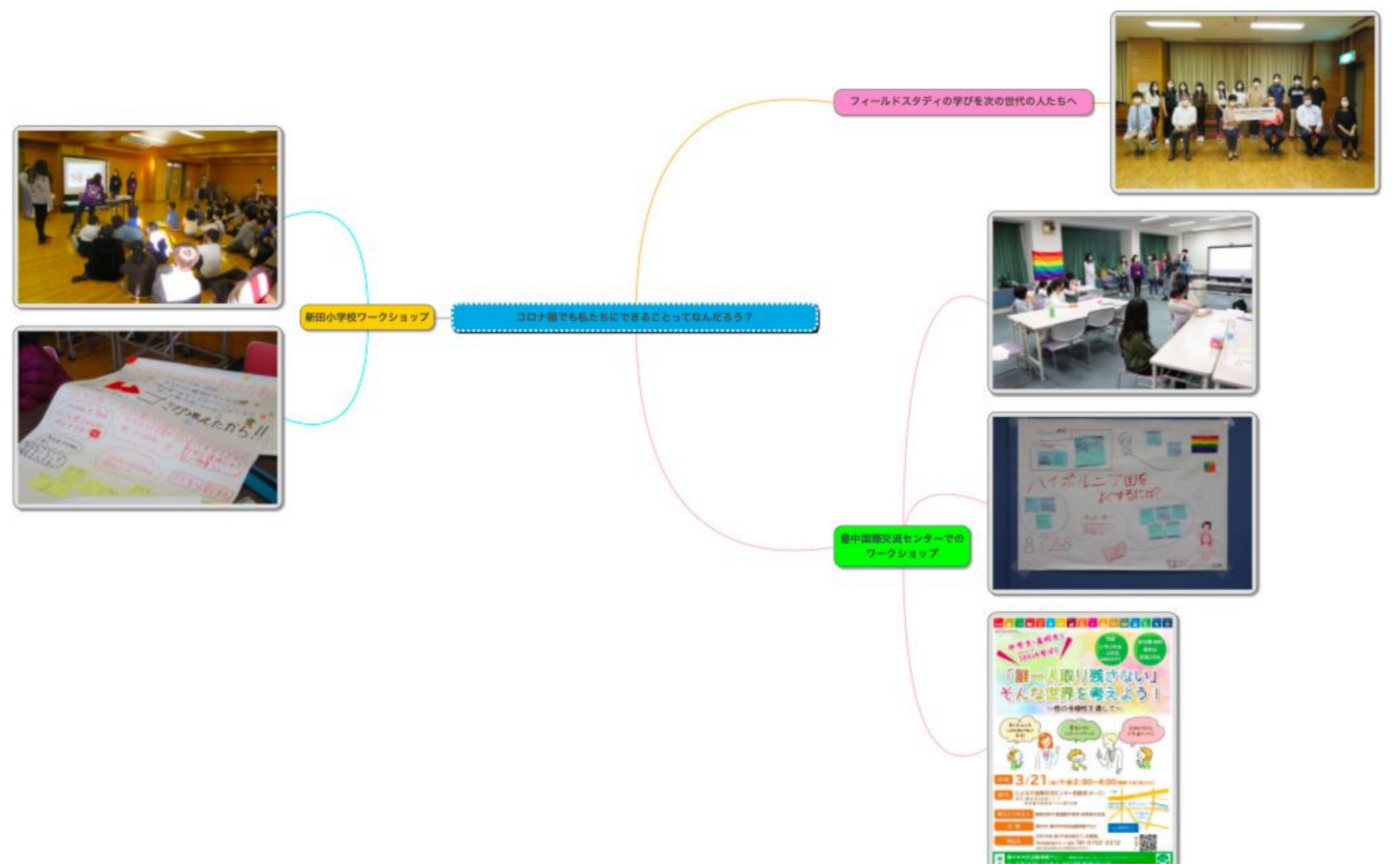
ハイポルニア国は日本からおよそ8000kmも離れた島国。
 ポルニア語を主に話す、昔イギリスの植民地だったため、英語を話すことのできる国民も
 多い。
 ”世界で最も環境被害を受けている国”と言われていて、
 先進国から排出され、流れ着いたゴミや水が深刻な問題となっている。
 また、古くから伝わる独自の宗教”リミック教”が浸透しており、その影響が女性の位置付
 けも男性に比べて低い。
 稼がない家庭は流れ着いたゴミを拾って日々の生活を補っている。
 また、まだ使えそうな機材やゴミを拾って海外に売ったりしている。しかし、ゴミからでた化学
 製品、また防護する衣服がないため非常に身体的に悪影響を及ぼしている。さらに文字を
 読むことのできる国民の数が日本の1/100しかおらず、
 子供も家の手伝いやゴミ拾いをしなければならないので満足に学校に通っていない。
 そこで生活に耐えられなくなった人々が日本へと逃げるケースが多いが、船もぼろく古い
 ため、途中で溺れたり、沈没するケースも多い。

この国を救う”ハイポルニア国防衛隊”として
 小学校や交流センターに訪問させていただき、ケーススタディ型の
 ワークショップを行って来ました。
 ハイポルニアでの問題点は何か、それを自分ごととして捉えて解決していくすべ
 を、作戦会議で子どもたちに考えてもらいました。

初めて教わる立場から教える立場に立ち、その大変さと重要性を再認識しまし
 た。
 一人一人の子どもと向き合い、その子の個性を生かした学びを引き出す
 ワークショップを展開しました。

「もっとSDGsについて知りたい！」
 「お姉さんたちみたいな活動をしたい！」
 との温かい言葉を多くいただき
 メンバー一同活動に誇りを持って行っています。

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)



「SDGsを新しい常識に」

私たちの課題、
 それは
 『SDGsの普及率をあげ、より地球に優しい環境を作る』ことです。
 そのために私たちができるアクションという形で
 SDGs For Childrenの活動を始めました。
 学校の授業で得てきた知識
 環境問題、セクシュアリティ問題、貧困問題、そしてそれらを分析して
 行動に移していくプロセスや能力を
 SDGs普及するために活用したいと考えます。
 高校生の私たちだからできる、ケーススタディー型の授業を通して、
 世界問題を身近に感じてもらえる機会を提供するというのが
 私たちのアクションです。

”SDGsを新しい常識に”を大きな目標として掲げて普及活動に参加していくため
 学校を超越した生徒主導の学びを拡張していきたいと考えています。
 私たちの活動を多くの人に知ってもらうため
 これからもワークショップの場を私たちが作り上げ
 クラブ活動自体も引き継いでいける持続可能な活動にしていきたいと考えています。

集合写真



活動団体プロフィール

小学生の子どもたちにSDGsを広める活動をしている
 中高生の学生団体です。
 小学校を訪問し
 環境問題を理解してもらい授業を展開する
 SDGsの普及に取り組む活動をしています。

Instagramアカウント @wearesdgsforchildren